

2015 BUSINESS REPORT

第64期 報告書 2014.4.1~2015.3.31

株主の皆さまへ

「人の呼吸にもっとやさしく」

～より自然に近い環境づくりを目指し、建築文化創造の
担い手として、未来に向かって邁進いたします。～

株主の皆さまには、日ごろから格別のご支援、ご愛顧を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

ここに当社第64期の業績についてご報告申し上げるにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

このたび、前社長 山口隆義の後任として代表取締役社長に就任いたしました。

まだ若輩者ではございますが、若輩なりの行動力とチャレンジ精神で、グループの一層の発展のため全力を尽くしてまいりたい所存です。

あわせて、経営体制を一新し、コーポレートガバナンス体制の改善と、経営基盤の一層の強化を図りました。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大成温調株式会社
代表取締役社長 水谷憲一



新しい経営陣のご紹介

代表取締役会長 水谷大介

代表取締役社長 水谷憲一

取締役副会長 山口隆義

取締役副社長 中尾信雄

取締役専務執行役員 中村恭三

取締役常務執行役員 奥山徹

取締役 大久保和正(新任)

常勤監査役 宇川一夫

監査役 杉山博康

監査役 公文敬(新任)

監査役 伏見幸洋(新任)

注) 取締役 大久保和正氏は社外取締役、監査役 杉山博康氏、公文敬氏および伏見幸洋氏は社外監査役であります。

トップインタビュー

「海外」、「環境」、そして「人づくり」を柱とする長期経営戦略Decade Strategy 2020がスタートして4年。2020年を見据えたビジョンの実現に向けて「ホップ」の段階を終えた大成温調は、この春「ステップ」となる第2次中期経営計画（2015～17年度）をスタートさせた。同時に、担当役員としてこれら中・長期計画の企画立案や推進に携わってきた水谷憲一氏が満を持して社長に就任した。38歳の若き新社長に抱負を聞く。

聞き手：山岡三四郎（一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 特任准教授）

Q1

長く経営企画の中枢を担われてきた水谷さんが、いよいよ対外的にも最終責任を担う立場に身を置かれます。決意をお聞かせください。

Decade Strategy 2020の進捗には手応えを感じており、方針を大きく変えることは考えていません。戦略や計画の立案だけでなく、それを実現するための責任と権限を与えられたわけですから、気を引き締めて業務を推進していこうと考えています。お陰さまで国内市場の景況感も都市圏を中心に大きく改善しており、東京オリンピックが開催される2020年に向けては、ある程度の見通しが立てられる環境が整ってきました。一方で「2020年以降」を見据えた場合には、従来の延長線上で経営戦略を考えるだけでは不十分と認識しており、今までの経験や教訓を踏まえつつも、若さを活かして新しい視点を加えていくことが重要だと自覚しています。

Q2

経営者の視点から、企業にとって最も大切なものは何だとお考えですか。

全ての基盤になるのは「理念」だと考えています。市況によって左右されることも多い数値目標の達成だけを目指すのではなく、いかなる環境においてもブレない会社の理念を、しっかり確立することこそが長期的発展のドライバーになると考え、Decade Strategy 2020の中核には「人づくりの会社として成長しよう」という理念を据えました。大成温調は技術の会社ではありますが、その本質はサービス業です。そしてサービス業において価値を生み出す源泉は、人です。第1次中期経営計画（2012～14年度）の期間中は、社長室長という立場から人材の成長を促す考え方や価値観の浸透を図り、制度や指標も開発・導入するなど、企業活力の基盤をつくってきました。

トップインタビュー

Q3 「人づくり」のために、具体的にはどのような施策を進めているのですか。

3つの柱があります。まず組織が1つになって目標に向かうための「モチベーションと価値観の共有」です。役員時代から全国の営業所や現場に積極的に足を運び、社員の声に耳を傾け意見交換を進めてきました。また社長就任を機に、4月から全社員にあてたマネジメントレターを毎月発信することにしました。基本的な理念や方針を、日頃感じていることと合わせて分かりやすく伝えるよう心がけ、今後は情報量も増やしていきたいと考えています。

2つめは社員が技量を磨き高めるための「教育体系の整備」です。入社年次毎に一斉受講するようなパッケージ型のプログラムではなく、社員一人ひとりが自ら身につけるべき知識や技能を主体的に考え、能動的に学習できる体制を構築すべく、eラーニングの仕組みなども導入しました。今まではカリキュラムの9割が技術的な専門知識に関する内容でしたが、サービス業に不可欠である対人スキル向上などの科目も増やしています。新しい教育システムは、協力会社の皆さまにもオープンに利用して頂き、グループ全体のスキルアップに繋がっていきます。



マネジメントスキル研修の様様

3つめは「働き方の見直し」です。大成温調のプロジェクトマネジャーが現場で果たすべき役割を突き詰めると工程、品質、安全などの「リスク管理」やバリューエンジニアリングなどの「コスト管理」に集約できるはずなのですが、実際には書類作成やその他の雑務にかなりの時間を割かれています。メリハリの効いたアウトソーシング等を通じて負荷を取り除き、社員には付加価値の高い仕事に集中してもらえよう「人件費1円あたりの付加価値＝人件費効率」という指標を導入しました。この物差しを上手に使いながら、限られた数の人財がモチベーションと技量を高め、多くの成果を無理なく生み出す、という好循環を全社で育んでいきたいと考えています。

Q4 海外での新しい取り組みの状況はいかがでしょうか。

これまでは日本人が海外に出向き自前で日系顧客のプロジェクトを請け負う、という形が中心でした。現在は、現地企業の中から優良な同業パートナーを見つけ出し、資本提携や技術サポートを絡めながらその企業を伸ばしていく手法を取り入れています。この方法ですと日系顧客以外のローカルプロジェクトにも積極的に参加することができますし、その国のインフラ水準全体を高めるという貢献にも繋がります。2013年に行ったベトナムのシーレフィコ社への出資は、すでに事業・業績の両面で高い相乗効果を生んでおり、今後も東南アジアを中心に良い企業があれば出資を検討したいと思っています。またこうした海外出資については、将来的には企業だけでなく人財ベースでも考えたいという夢があります。現在当社で採用している外国人社員の中には「将来母国に戻って起業したい」と考える若者がたくさんいます。少し先の話になるかも知れませんが、こうした人財が当社で得たノウハウやネットワークを活かし、母国で設備関連の事業を興そうとする際には、当社が物心両面から支援することで共存共栄の関係を築くことが出来ると期待しています。



シーレフィコ社との資本・業務提携セレプションで挨拶する水谷社長（2013年）



海外子会社スタッフの国内研修

Q5 最後に、株主価値向上に向けたメッセージをお願いします。

これまで述べた通り、理念と戦略に基づいた経営により着実に業績を上げていくことが基本だと考えていますが、同時に資本効率の向上やキャッシュの有効活用も重要な課題だと認識しています。資本効率の面では、中期経営計画で定めたROE（自己資本利益率）の目標数値達成を目指します。また、海外でのM&A案件や、環境ビジネスにおける新しい事業創造、人への投資など、成長の礎を築くための投資を進めていきたいと考えています。積極的なチャレンジを通じて会社の業績を上げ、ステークホルダーの皆さまのご期待に沿えるよう全力を傾けますので、株主・投資家の皆さまのご理解・ご支援を、引き続きなにとぞよろしくお願い申し上げます。

事業内容

大成温調は建物の新築、保守・修理・小工事、リニューアル工事
及び省エネ、節電提案等の環境改善を行う総合設備工事会社です



私たちは世界に跳躍^{はばた}く、総合設備のプロフェッショナルグループを目指します。
-Global Facility Solution Group-

2015年2月
竣工

草薙総合運動場 このはなアリーナ (静岡県)



2014年12月
竣工

三田市役所 本庁舎 (兵庫県)



連結財務諸表 (要約)

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	平成26年3月31日現在	平成27年3月31日現在
資産の部		
流動資産	34,390	33,036
有形固定資産	4,429	4,819
無形固定資産	87	116
投資その他の資産	3,125	3,811
資産合計	42,032	41,783
負債の部		
流動負債	22,598	22,188
固定負債	962	1,091
負債合計	23,561	23,279
純資産の部		
資本金	5,195	5,195
資本剰余金	5,087	5,087
利益剰余金	8,527	7,736
自己株式	△382	△386
その他有価証券評価差額金	226	566
為替換算調整勘定	△30	400
退職給付に係る調整累計額	△152	△95
純資産合計	18,471	18,503
負債純資産合計	42,032	41,783

連結損益計算書

(単位：百万円)

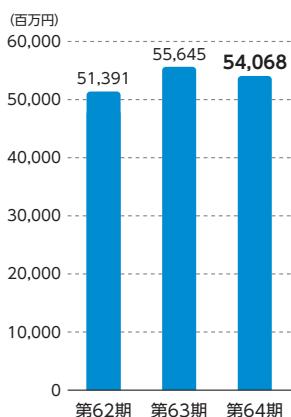
科目	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
売上高	55,645	54,068
売上原価	50,483	49,539
売上総利益	5,162	4,528
販売費及び一般管理費	4,310	4,486
営業利益	852	41
営業外収益	314	380
営業外費用	83	27
経常利益	1,082	395
特別利益	-	8
特別損失	827	294
税金等調整前当期純利益	255	109
法人税、住民税及び事業税	230	324
法人税等調整額	△43	217
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前当期純損失(△)	69	△433
少数株主損失(△)	△4	-
当期純利益又は当期純損失(△)	74	△433

連結キャッシュ・フロー計算書

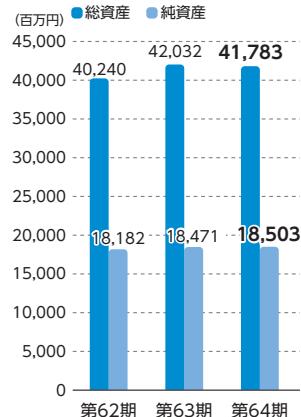
(単位：百万円)

科目	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,625	△3,739
投資活動によるキャッシュ・フロー	△878	△702
財務活動によるキャッシュ・フロー	△436	△133
現金及び現金同等物に係る換算差額	212	133
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,522	△4,442
現金及び現金同等物の期首残高	11,077	12,600
現金及び現金同等物の期末残高	12,600	8,157

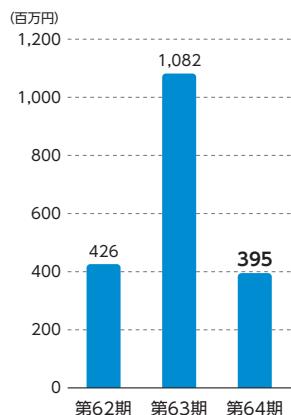
売上高



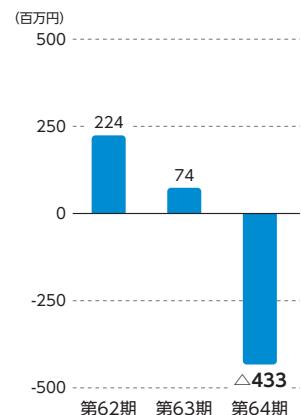
総資産・純資産



経常利益



当期純利益



当社のHPでは、詳細なIR情報を掲載しております。

<http://www.taisei-oncho.co.jp/ir/>

ガバナンス強化に向けた新体制

当社では今期より、ガバナンス強化策の一環として、従来の社外監査役に加え、新たに社外取締役を選任いたしました。より開かれた経営環境の整備により、経営の透明性、公正性、健全性の強化に努めてまいります。

これに伴い、組織体系も大幅に刷新いたしました。具体的には、取締役による管掌制より、執行役員を中心とした本部長に管掌職と統括職を兼務する体制に移行し、責任と権限を集中し業務遂行の迅速化及び責任体制の強化を図ります。また、これまで地域ごとに分散していた海外関連セクションを一体化し、海外事業の拡大における事業リスクへの対応と経営資源の機動性及び効率性を含む海外事業を一体化した管理体制を図ります。

これにより、単に組織運営の効率性を目指すだけでなく、より迅速、果敢な意思決定を行うための仕組みを整備し、コーポレートガバナンスの強化に繋げていく考えです。

「人づくり」の実現に向けて

トップインタビューにもあるように、当社では「人づくり」こそが、企業の最大の成長エンジンであるとの認識に立ち、一人ひとりがより高い付加価値を創出できるよう、様々な人財育成を進めています。

各人が、それぞれ個別の得意分野の伸長や不得意分野の克服に努められるよう、教育プログラムのオープン化を実施し、一人ひとりのテーマに即したきめの細かい教育体系を構築しています。

こうした技能面の強化だけでなく、交渉力やプレゼンテーション能力と言った対人スキル、論理的思考や言語化スキルなど、多方面から人間の持つ総合的な能力を引き出すための実践が行われています。

人財育成という一般的な内向きの施策と捉えられがちですが、当社は成長し続ける企業として、人財が業績を担保する最大の経営資源であるとの考えに基づき、人的資源への投資を進めております。

「人づくり」の根底にあるものは、社是である「お客様第一」の理念なのです。

ブランド力 向上に向けた取り組み

大成温調ホームページ リニューアル

2015年4月より、当社ホームページを約4年半ぶりにリニューアルしました。

トップページのデザインは、未来の都市空間をモチーフに、シンプルでソリッド、ダイナミズムと言った概念で構成。さらに硬質で未来的なイメージを伝えるため、グレーを基調としました。

建築設備会社のホームページというと、環境やエコからイメージされる「柔らかさ」や「自然」をテーマに、青、緑、白の色調をベースとするパターンが一般的でしたが、当社は思い切ったイメージの刷新を図り、工事業そのものをスタイリッシュで洗練された意匠で表現し、ブランドイメージの向上と、他社との差別化を図っています。

内容についても、お客様が知りたい情報に3クリック以内でたどり着けるようサイト構成を整理するとともに、不要なコンテンツを削除し、ページ構成をシンプルで、わかりやすいものにしました。



マスコットキャラクター「トップくん」誕生

2015年4月、大成温調の新しいマスコットキャラクター「トップ (TOP) くん」が誕生しました。

「トップくん」のデザインは、アデリーペンギンとジェンツーペンギンをベースにしています。これは1948年に、当時冷凍機メーカーであった当社が、自社製品のイメージとして編み出した「ぺんぎん」キャラクターの流れを汲んでいます。「トップくん」の姿は、大成温調のこれまでを継承し、未来に繋げていく意志を表しているのです。

愛嬌があって人なつこいペンギン同様、ステークホルダーの皆さんに大成温調により親しみを感じて頂くために、これから活躍していきます。



名前の由来

「Taisei Oncho Penguin」の頭文字から取りました。大成温調として、トップを目指そうの意味も込めています。

Pick Up!

当社のファシリティ事業

— お客さまの大切な建物のために —

建物設備の不具合や故障を未然に防ぎ、設備の延命化を図るため、当社のファシリティ部門は、365日、24時間体制で対応しております。

建物の設備・電気設備・建築内装を、新築時から改修サービスまでワンストップで手掛け、お客さまの建物の付加価値向上を目指します。

建物設備の診断、保守、修理



建物を人間に例えると、設備はいわば内臓器官に当たります。建物も人と同じように、定期的に診断を行い、不具合が生じる前に改善・延命対処する必要があるのです。当社では、設備の重要点を的確につかんだ診断、保守、修理を行っております。

太陽光発電設備の建設



当社は、創エネルギー技術開発の重要項目に太陽光を位置づけ、施工分野で培った技術やノウハウを、メガソーラーを含めた太陽光設備に活かしております。
(写真は「ぺんぎんメガソーラー発電所」)

空調機更新工事



空調設備改修・電気設備改修・建築内装を一手に引き受け、アフターサービス（予防保全の保守修理整備）までワンストップでカバー。お客さまのご希望とご予算に応じた多様な工事に対応いたします。

会社概況・株式情報

会社概況

商号 大成温調株式会社
本社 〒140-8515
東京都品川区大井一丁目47番1号
TEL.03(5742)7301(代)
FAX.03(5742)4551

創業 昭和16年4月3日
設立 昭和27年12月22日
資本金 51億9,505万7,500円

従業員の状況
(平成27年3月31日現在) 659名

ネットワーク 平成27年6月26日現在

大成温調株式会社

本社・支店 本社(品川区)、東北(仙台市)、関東(さいたま市)、東関東(千葉市)、横浜(横浜市)、静岡(静岡市)、名古屋(名古屋市)、大阪(大阪市)、西日本事業部(福岡市)

営業所 青森(青森市)、盛岡(盛岡市)、秋田(秋田市)、山形(山形市)、気仙沼(気仙沼市)、郡山(郡山市)、茨城(つくば市)、宇都宮(宇都宮市)、群馬(太田市)、千葉県南(鴨川市)、東都(荒川区)、江東(江東区)、多摩(立川市)、厚木(伊勢原市)、山梨(中央市)、新潟(長岡市)、三島(三島市)、滋賀(大津市)、京滋(京都市)、神戸(神戸市)、奈良(奈良市)、和歌山(和歌山市)、広島(広島市)、四国(高松市)、沖縄(那覇市)

サービスステーション 城南(品川区)、城北(品川区)、中央(品川区)、東都(荒川区)、城東(江東区)、城西(杉並区)、多摩(立川市)、横浜(横浜市)、厚木(伊勢原市)、千葉(千葉市)、大宮(さいたま市)、太田(太田市)、宇都宮(宇都宮市)、我孫子(我孫子市)、静岡(静岡市)

株式の状況 平成27年3月31日現在

- 発行可能株式総数 55,000,000株
- 発行済株式の総数 14,364,975株
- 株主数 1,852名
- 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
アミー・コーポレーション(株)	1,986千株	15.2%
大成温調取引先持株会	1,599	12.2
水谷日出夫	1,112	8.5
河村和平	803	6.1
大成温調従業員持株会	705	5.4
一般財団法人ぺんぎん奨学財団	700	5.4
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	181	1.4
青木鋭衛	180	1.4
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	171	1.3
和田ふみ子	150	1.1

(注) 上記のほかに自己株式(1,291,385株)を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 毎年3月31日
定時株主総会・期末配当 中間配当を行う場合には9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031
(インターネット) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
ホームページURL
公告方法 電子公告の方法により、当社ウェブサイトに掲載して行います。
ただし、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

※その他ご不明な点は、上記の三井住友信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせください。

当社及び重要な関係会社（大成温調のグローバルネットワーク）

- 大成温調機電工程（上海）有限公司
- 大成温調香港工程有限公司



- 大成温調株式会社
- 温調エコシステムズ株式会社
- ペンぎんアソシエイツ株式会社



- ALAKA'I MECHANICAL CORPORATION
- TAISEIONCHO HAWAII, INC.



- TAISEI ONCHO INDIA PRIVATE LIMITED



- SEAPRODEX REFRIGERATION INDUSTRY CORPORATION



※戦略的パートナー

- ONCHO PHILIPPINES, INC.



- ALAKA'I PACIFIC, INC.(GUAM)



- TAISEI ONCHO AUSTRALIA PTY. LIMITED

- NT AUSTRALIA PTY. LIMITED



人の呼吸にもっと優しく

TAISEI
ONCHO

大成温調株式会社

ISO 9001 登録
14001

本社 ● 〒140-8515 東京都品川区大井一丁目47番1号

TEL.03 (5742) 7301(代) FAX.03 (5742) 4551



UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。